

2013 スペイン・ポルトガル周遊10 「第1話」

第1話 我家からスペイン第2の都市・バルセロナへ

旅行 第1日目・出発の今日は、桜も散った4月18日・暖かい朝である。我家のお嫁さんたちは、子供たちのお弁当造りに慌ただしい 5 時半ころ、私たちはタクシーで家を出て、バスセンターへと向かう□□am6時丁度に高速バスは出発、車窓からは、**八重桜**に、**ツツジ**を始め**藤の花**が、朝霧が煙る中、あちこちに咲いているのが見え



る。今朝が早起きだったので、途中はウトウト… そうして、ほぼ予定通りの 07:40 福岡空港に到着した。これから「**スペイン・ポルトガル周遊□10日間のツアーに参加するので**



す□国際線ターミナル3階のツアー・カウンターに行く。

福岡空港・



添乗員の方が来るのを待ってEチケットなどの書類を受け取り、Bカウンターで飛行機のチェックインを済ませた。



構内は、早朝から大変混雑している … 3階のレストランに行き朝食をとることに。



レストランの店内は、沢山の客でワイワイ・ガヤガヤ … そんな喧噪も、旅行中はむしろ快い刺激・美味しく朝食を終えて9時です。

それから、セキュリティ・チェックと出国審査を済ませ、搭乗ゲートに行く。



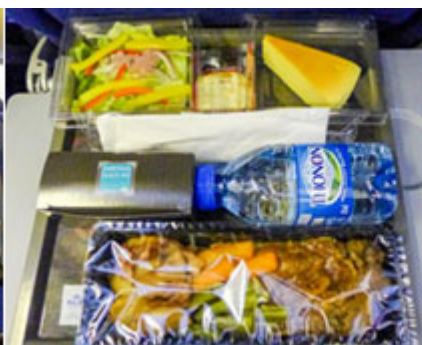
すると、待ち合いのフロアーには、空席もないほどの混雑ぶりである。中国や台湾へ向かう搭乗客が、隣の搭乗ゲートの待ち合いスペースにまで流れ込んでいるのであった。

そんなことで、私たちは、かなり長い時間立ったまま … 10時半頃、待ちわびた搭乗案内がやっと始まった。





滑走路は朝
のラッシュ … 20分程遅れて飛行機(KL870便) は、10:45 福岡国際空港を飛び立つ



た

こうし

て、**アムステルダムまでの長いフライトが始まったのです**□

日本時間の正午少し前、飲み物が配られた。そこでワインを貰って飲む…その後、食事が配られた。

座席は、窓側の3席を、私たち2人で使えることになったのは良かったが、座席の前後の間隔が狭い!! … 食事が終わって暫くすると、前の席の乗客が、思いっきり!! シートをリクライニングした。これではノート・パソコンも正常に開くことが出来ない。エコノミーは、こんなにも狭かったかな?? … とブツブツ独り言を言っていたら、機内アナウンスで「座席のクラスをUPすることが出来ますよ!!」と言うのである。まだまだ空路の先は長い!! … シビレを切らして、席を移動することにした



んです。

□**その**

席は、一人180ユーロの追加料金を取られたが、リクライニングは目一杯倒してもOKで、通常の約2倍の角度となる。・足も伸ばし放題。 さらに後部座席には誰も座っていない（実は、一人の客が居たそうだが、私たちが来ると言うので□CAが客に頼んで、別の席へ移動をお願いしていた）。なので「後部の3席のアームを起こすと、そこに横にもなれる」・そうすると、ビジネスクラスよりも良いかも? … 思いがけない座席のUPグレードに、ニヤリとしたものです。 **この座席は「エコノミー・コンフォートゾーン席」と言うものです。**

□飛行機は、広大なロシア大陸の上を飛んでいる。モニターのナビで、到着まで7時間と表示されているが、どうも、1時間ほどの遅れが出ているようだ。



ところで、
今回の旅では、初めて携行した物があるんです。それは「**iPad mini**」です。今回のツアーでは、**14時間**と言う長いフライトや、観光地スペインでは、**長距離のバス移動**が、毎日のように予定されている。そうした**長時間の移動中を、退屈しない**ようにと「映画」や「落語」「観光情報」等など…を、このiPadに入れて持参したのです。

□ですから、機内での退屈さが、感じられなかったことと、そう!…「観光ガイドブック」や「旅のしおり」など、通常だと「紙類」となる情報類の全てを、このiPadの中に入れることによって、手荷物が随分とスリムになったのです。

これからの旅に、欠かせないグッズになりそうです。



飛行機はこれから、ウラル山脈を超えて行こうとしています。日本時間でいま夜の9時・つまり、日本を飛び立ってから10時間ほどが過ぎて、到着まであと2時間ほどです。

そこに、添乗員のMさんが来られる。「**飛行機の到着が1時間ほど遅れているために、トランジットがバタバタとなりそうです**」とおっしゃる。なので、飛行機を降りる前に、早目にトイレを済ませておいてくださいと言う…。

以前・スイス・フランスを訪れた時も同様な、トラブルに出遭ったことがある。

その時は、とてつもなく広い空港を、30分ほどだったろうか、小走りで移動したことを、思い出したものです。

□

□**それに加えて、私たちには、もう一つの問題が起きていた。それは、福岡空港でチェックインをした際に、発行されたチケットが、福岡⇄アムステルダム間のものだけしかなかったことである。トランジットして、アムステルダムから、スペインのバルセロナのプラット空港までのチケットが、発券されていなかったのである。確認すべきだったと反省…ただ救いは、手荷物のチケットが、最終地・バルセロナとなっていたことである。**

□**添乗員のMさんが、キャビン・アテンダントと、その対策を話し合っている。**

あと一時間ほどで到着の予定となった。トイレには列が出来始めている。初日から、ハードな状況になりそうなので、靴ひもをしっかりと結び、降りる準備にとりかかった。

□**アムステルダム「スキポール空港」には、現地時刻で15:10着の予定だった。**

…、**が、その到着は遅れて、16時15分を過ぎていた。**



「スキポール空港」に降り立って直ぐに、ツアーのメンバーが揃っているかを確認。
 ツアーは合計12名だ … さあ !! 構内の移動が始まった。



その先導には、
 この空港の女性のガイドがついている。
 およそ30分弱・広い構内を延々と小走りが続き、私は汗をかいてしまった。



このアムステルダムの「スキポール空港」は、広く、お店も充実していると聞いた。
 小さな美術館まであったりするそうで、出発待ちは、退屈することがないようですね。

私たちのトランジットのチケットは、搭乗口で発行手続きがなされた。



そして、ほ

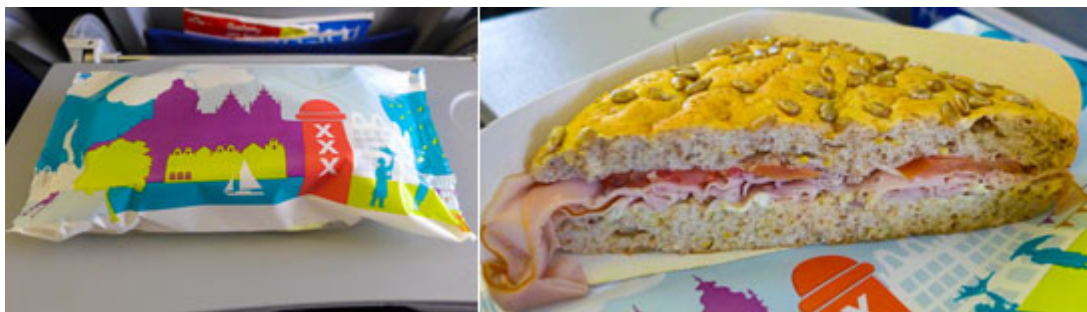
ぼ満席の機内へと駆け込こんだのです。



機内の乗客の殆んどは、こちらの国々の人たちと思われる。身体が大きくて圧倒される…そして、男女ともに、金髪の方が多く・その皆さんがとてもお洒落に見える。

□私たちのツアーで夫婦は2組だけ…あとの皆さんは、女性同士の4ペア・8名の皆さんで、合計12名である。□**アムステルダム「スキポール空港」を17:10頃に離陸した。**

飛行機は（KL1675便）で、**スペイン第2の都市・バルセロナの「プラット空港」へ向けて、およそ2時間のフライトである。** スペインへの出入国カードは不要と言うのでホットして、配られた「生ハムのサンドウィッチ」をアップルジュースで流



し込んだ。
ま日本時間では、19日の深夜・01:30である。スペインの時間に直すと、18日の午後の6時半・あと40分ほどで着陸することだから、**19:10頃の着陸となりそうだ**□
私たちは18日の未明□am 4:00に起床したのであったから、スペインのホテルに着く頃は、丁度24時間が経過していることになる。

その内の**14時間が飛行機の中**。そんなハードな日程も、もう直ぐに終わりです。

そう!…次の「プラット空港」到着からは、バタバタと慌てることはなさそう…その後は、少しバス移動してホテルに入り、ゆっくりと手足が伸ばせる。そう思うと、元気がわいてくる。こうして、無事にバルセロナの「プラット空港」に降

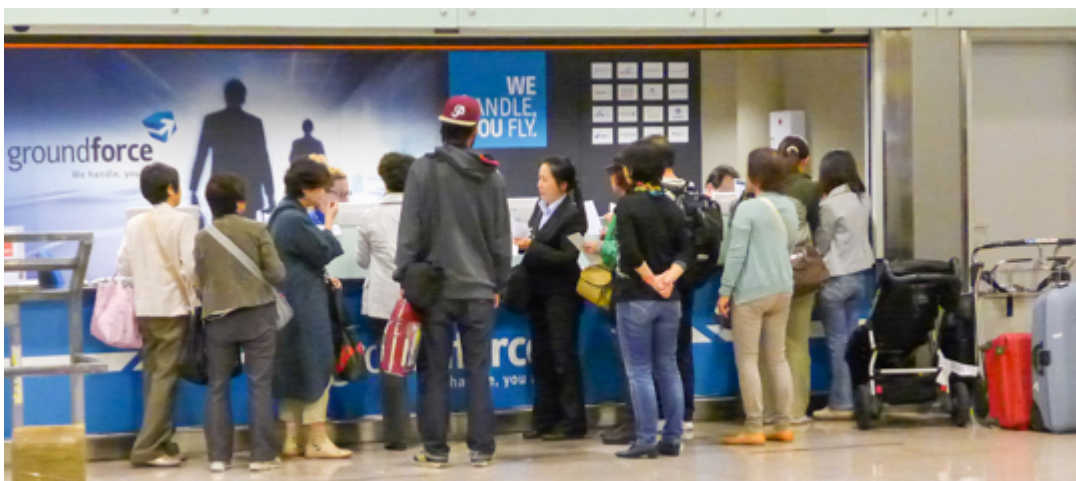


り立った。

そこでツアーは、スーツケースの受け取りのコーナーへと行き、手荷物が出て来るのを待つ。



だが、私たちのツアーの荷物だけけが、出てこない!! … トランジットとなったアムステルダム「スキポール空港」での、手荷物の積み替えが、間に合わなかったことが分かった。



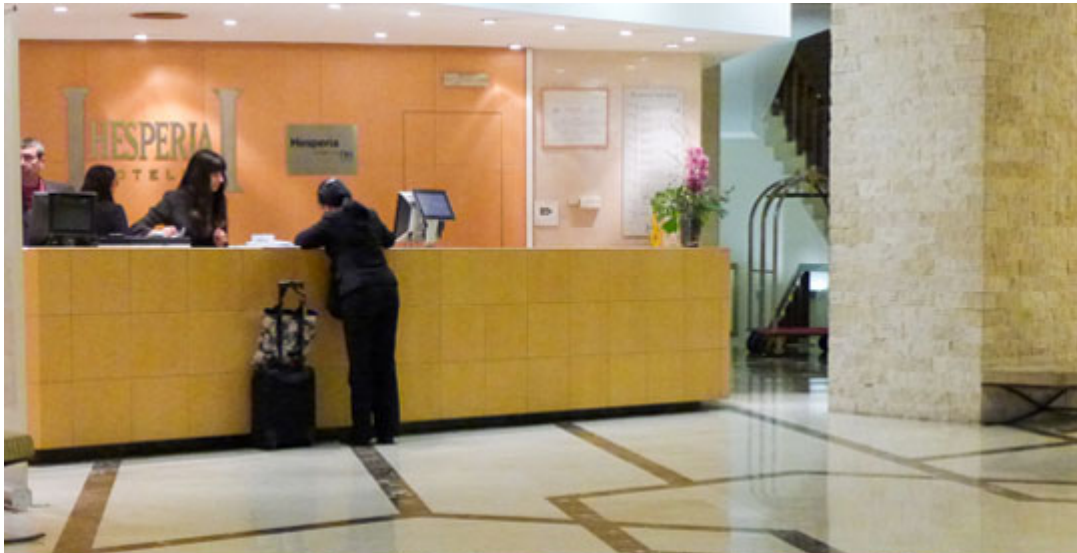
そこで空港側が、深夜の午前2時ころ、ホテルへ荷物を届けると言うことになった。
仕方がないので、私たちは先に、バスでホテルへと向かった。



空港からお

よそ30分でホテルに到着した。

この時、夜の9時・外はやっと暗くなって来た□



ここバルセ

ロナのホテルの名前は「エスぺリア・サン・ジュスト」□



ホテルでの
チェックインが終わり、やっと部屋に入ったものの、荷物が届かずに着替えることも出来ない。 取りあえずベッドに横になることにした。 そして、夜中の1時半頃、スーツケースが届いたと添乗員のMさんからの電話が入る。 こうして荷物を受け取り、深夜・シャワーをして着替え・荷物の整理などと小一時間が経過する。 その後・タイマーをしっかりセットして眠りについた。

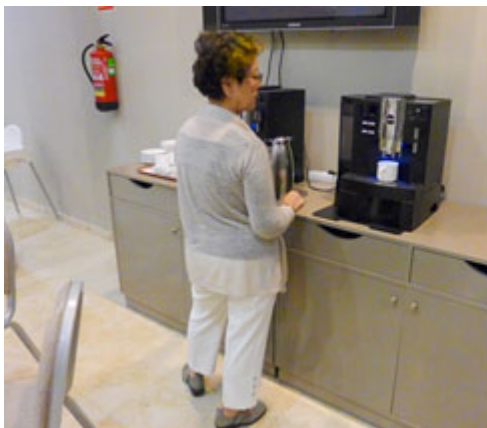
2時間ほども眠っただろうか？… 旅行2日目の朝は、5時近くに起き出した。
今朝は、am 07:00 に荷物を部屋の外に出し・朝食は 07:05 から・08:05 にはロビーに集合・08:15に出発の予定となっている。



観光初日の朝は快晴。 スペインの
そして朝食はビュッフェ・スタイルである。



料理を皿一杯に採り込んだ。 本場の生ハムが美味しい ついつい、
!! ...

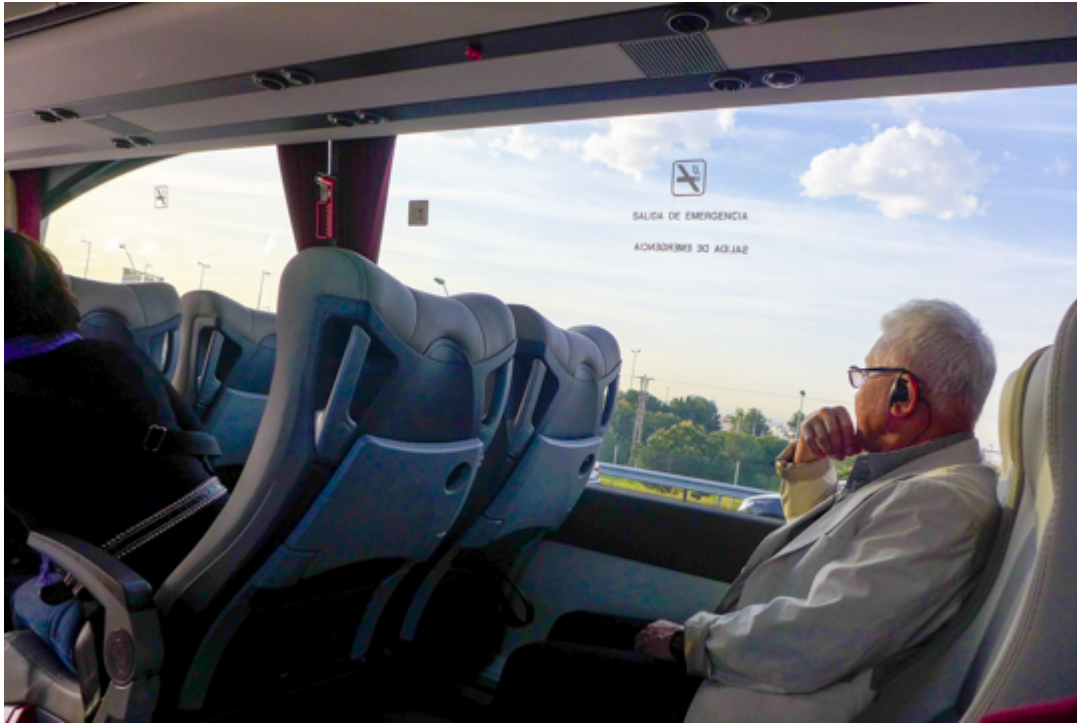


を終え、8時15分・ホテルを後に

バルセロナ市内観光

満足の食事
に出発した□





街の途中で、
 現地のガイドの「日本人中年の男性」と、「スペイン人の女性」の二人が、バスに
 乗り込んできて、早速にガイドが始まった。



そこでガイ
 ドから教えて貰った情報の一つ二つを書いておきます。
 □**スペインの市内には「公衆トイレ」が無いそうです。では「スペインっ子」たちは
 はどうしているのかと言うと? ... 「BAR」を利用しているそうだ。**



市内に沢山

ある「**BAR**」での珈琲は、わずか 1.3 ユーロとお手軽□□**BAR**」はカフェでもありレストランでもある。 日本のコンビニのように「生活雑貨」を買い求めることも出来る・いわゆる「**スペインのコンビニ**」が「**BAR**」なのだそうです。



あの IOC の

サマランチ会長は、このバルセロナの生まれ。 21年前・このバルセロナでのオリンピックで、スターになったひとりに、女子マラソンの有森選手がいる。

□**スペイン語で「頑張れ！」は「アニモ！」**と言うそうで、… 沿道からのその声援を聞いた有森選手は「**有森！**」と聞こえたそうです。 「**どうして、スペインの人たちは、私の名前をこんなにも熱強敵に知っているのか？！**」と思いながらも … 声援に励まされ頑張り抜いて、2位に入賞したと言うエピソードを聞いた。

グラダ・ファミリア（聖家族教会）」や「グエル公園」などは「ミラ邸」と共に、アントニ・ガウディの作品群としてユネスコの世界遺産に登録されている。

次に観えて来たものは「ミラ邸」とも呼ばれるこの建物は、曲線が強調されたこの建物自体が抽象彫刻作品とも言える建築で、ガウディの代表的建築物の一つとなっています。これも世界遺産に認定されています。



バルセロナは、ガウディを始め、ピカソ、ミロ、ダリといった優れた建築家・芸術家を育てた街として知られています。これからその芸術の街・バルセロナを、バスから降りて見学



します。
お話は次の「**第2話**」で公開したいと思っております。

その

ご覧下さいまして、ありがとうございました。
これからもまた、お付き合い下さいますように、よろしくお願いしま〜す!!
次の「**第2話**」でまた…お逢いしましょう!!